

地域おこし協力隊奮闘記



### 住と食を通して 自然と人を結びたい

はじめまして、5月に家族5人で田村市に来まして、起業型地域おこし協力隊に就任した新井田美菜子です。これまで住宅業界でインテリアやリフォームの仕事に携わり、子供の出産を機にフリーランスのお片付けカウンセラーとして活動して参りました。

住まいのお仕事を通して、人々の暮らしを豊かにすることが大好きで「田村市に多くある空き家を活用して、自然と人がつながり、共生できる心豊かに暮らせるシェアハウスとカフェをつくりたい」と思います。

田村市に移住して1カ月になりますがお水がおいしかったり、星がきれいだったり、鳥のさえずりが心地よかったです。四季折々の自然とのつながり、人々の温かさが都会にはなかった暮らしの魅力であり、豊かさを生み出していると感じます。

### プロフィール

埼玉県出身。子供3人と木工作家の夫と田村市に移住。木工作家の夫と共に、自然に近い場所で暮らしたいと移住先を探していたところ、自然豊か度人があったかい田村市に魅了され、移住を決定。昆虫が大好きな子供たちと、田んぼで捕まえた水カマキリを飼育中。

日本の住宅はもとも、自然の気配や人の気配を感じられる造りでした。今は、快適さや便利さと引き換えに、自然や人との距離が遠くなっていると感じます。田村市の方が自然と共に生きてきた歴史を、今の世代が取り入れやすく、次世代にも大切につなげていけるような自然と人を結びシェアハウスとカフェをつくりたいと思います。そして、私たちのような移住者と地域の皆さんが交流でき、大人から子供まで集えて愛される場所にしていきたいです。どうぞよろしくお願いします。



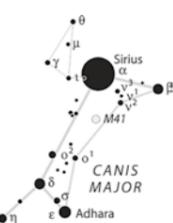
海を越えて 英語指導助手ペンリレー No. 132

### とても暑い夏の日

日本での生活も5年目を迎えました。まだ日本の文化や言葉が学ぶことがたくさんあります。私は、亥年生まれです。日本語の勉強を始めた時、干支が時間も表せることを学びました。午前は「午の前」で、午後「午の後」です。

英語では、年月日や時間を表すために動物の名前を使うことは、ありません。しかし「土用の丑の日」という日本語を調べた時、私の辞書に、dog days of summerと書いてありました。自然と二つの疑問が浮かびました。①そもそも、どうして日本人は丑の日にウナギを食べるのでしょうか。なぜ牛肉ではないのでしょうか。②なぜ牛が犬になったのでしょうか。

北半球では、夏の一番暑い日は、夜空に天狼星が戻ってくる。それが関係しています。実際、ギリシャ語で「シリウス」



は「猛烈に暑い」を意味します。また、猟師であるオリオン座に忠実に従っていたことから、「シリウス」はギリシャ語で「天狼星 (the dog star)」と呼ばれました。そのため、夏の一番暑い日は英語で the dog days of summer と呼ばれるようになりましたが、それは「土用の丑の日」のひどい英語訳です。

今年、夏の土用の期間に7月24日と8月5日の2回、丑の日があります。どちらかの日にはウナギを食べようと思っていまいますが、ウナギを食べない方の中には牛丼を食べてはどうかと考えています。また、the dog star (シリウス) を見るために、星の村天文台に行きたいと思っています。今年、滝根中学校で教えて3年目になります。まだ天文台に一度も行ったことがありません。ただ、英語で the dog days of summer であっても、土用の丑の日に犬を食べる予定はありません。



アンセルム・ウデン  
アメリカ合衆国インディアナ州出身  
(田村市に来て5年目)

# たむら市民大学「たまり」 教員リレーインタビュー!

No.4

- 質問
- ①講座の魅力
  - ②学べること
  - ③市民へのメッセージ

教員を務める3人に、講座の魅力や得られるものについて伺いました。

「生活・働き方に役立つ! ポジティブ心理学の基礎と活用」  
神原 康夫

- ①ポジティブ心理学についてグループワークを通して体験的に学びます。「ふれあいと自己発見」が自己の成長につながります!
- ②講義と構成的グループエンカウンターを通して、ウェル・ビーイング(幸せな生き方)への気づきが得られます。
- ③講座中はペンネームで呼び合います。それぞれの気づきが促進されるよう、メンバーの考えをよく聞いた上で、公認心理師の知見はしっかりお伝えしますね!

「お金の学校」  
遠藤 栄一

- ①なかなか学ぶ機会が少ない、欧米の中高生が当たり前で学んでいる正しい金融教育を提供致します。
- ②お金を学ぶ心構え、NISAやiDeCoの仕組み、資産運用における大切な3つのルール、外貨の基本といった内容を、設問や事例を織り交ぜながら、具体的に学びます。
- ③社会の変化に対応するために必要なお金の知識をぜひ取りに来ていただきたいと思います。

「昆虫すごいよ!」  
大口 宗将 (ムネリン)

- ①日常の身近にいる昆虫を正しく見られます。また田村市の里山とその多様性に気付けます。
- ②昆虫や生息環境の一つである里山について学べます。また野外では昆虫採集を通じて田村市の自然を再認識できます。5月の採集では、チョウチョやトンボ、ゲンゴロウなどを観察できました。
- ③多様な角度から昆虫を知ってほしい。昆虫はすごい!

ちょこっと

## エコライフ ~身近な省エネを実践しよう!~

vol.11 打ち水で暑い夏を楽しもう

暑い夏がやってきましたね!こんな時は、昔ながらの知恵「打ち水」で涼しさを取り戻しましょう。打ち水は、地面に水を撒くことで周囲の温度を下げる日本の伝統的な方法です。打ち水が涼しく感じるのは、水が蒸発するときに周囲の熱を吸収する「気化熱」という現象のおかげです。そのため、地面の温度が下がり、空気もひんやりと感じられます。

ご家庭で手軽に打ち水を楽しむためには、お風呂の残り湯やエアコンの排水、米のとぎ汁など、再利用水を活用するのがおすすめです。水がすぐに蒸発せず、地面に水を長く保つことのできる朝や夕方涼しい時間帯、日なたよりも日かげに打ち水を行うと、さらに効果が長持ちします。すだれやグリーンカーテンの設置で日かげを作ることも効果的です。

今年の夏は、エコな打ち水を取り入れて、涼しく過ごしてみませんか?家族みんなで打ち水を楽しんで、楽しい夏の思い出を作り、暑い夏を乗り切りましょう!

(獨協大学国際環境経済学科 4年 日野原)

打ち水で涼しさを感じる仕組みについてはこちらをご参照ください。



今月のごみ量  
(4月分)

- 1日1人あたりのごみの量: 920g
- 田村市のごみの量の目標: 750g
- 目標達成まであと: 170g 減!
- ※ 3月のごみの量と比べて、223g 増!

